



1地

地域経済の振興と雇用確保 交流人口の拡大へ

まちのさらなる発展には産業振興は必要不可欠です。雇用の確保や消費者ニーズの多様化への対応、第1〜3次産業や新たな観光振興など、これらの課題を克服するために、次のことに取り組みます。

▽一次産業の将来を描いた「タフ・ビジョン」を基本にした農林畜産業の振興▽地場産業の強化や工場適地の確保と企業誘致、雇用の場の確保▽第1〜3次産業の枠組みを超えた産業連携▽SIL 停車場プロジェクトを基軸に、遠野駅から市民センターまでの中心市街地の景観や、めがね橋周辺の環境整備など



2下

育てするなら遠野

少子化対策と教育環境整備
ソフト・ハードの充実強化

▽教育委員会や保育協会との連携を強め、出産から高等学校までの切れ目ない子育て支援▽学校や保育施設の環境整備と奨学金制度の充実▽未来の遠野を担う子どもたちの基礎学力の向上▽子育て世帯が暮らしやすい市営住宅の整備▽平成28年いわて国体へ向けたスポーツ施設の充実や地域文化の保全など



現在子育て環境や教育の現場は目まぐるしく変化しています。そのような状況下で、安心して子育てできる環境と、さまざまなことが学べる教育の場をつくるため、次のことに取り組みます。

直ちに 取り組む 2つ の こと

本田市政3期目 市民の皆さまとの

約束

平成25年10月23日から
本田市政3期目がスタートしています。
遠野の明るい未来のため、
今後4年間の市民の皆さまとの
「約束」を
紹介させていただきます。

今後4年間の市政は①健全財政の維持②各種機関との連携推進③本庁舎プロジェクトなどの加速④保健・医療・福祉の再構築⑤各種インフラ実現の中で未来を展望―の5つの視点から運営してまいります。

現在の本市の財政は「健全を維持していますが、さらに安定したものにするため、新たな借

市政運営五つの視点

市政運営は「公平・公正・公開」を基本とします。現場に立ち市の現状を見ながら、市民の皆さまとの対話を重ねる「現場主義」を貫きます。また、無い物ねだりせず「知恵と工夫」で現在あるものの中から、新たなアイデアを生み出します。さらに市職員が連携を取り、意識・組織・制度の壁を越え、市民の皆さまの生活を第一に考えた住みよいまちづくりに努めます。

基本スタンス

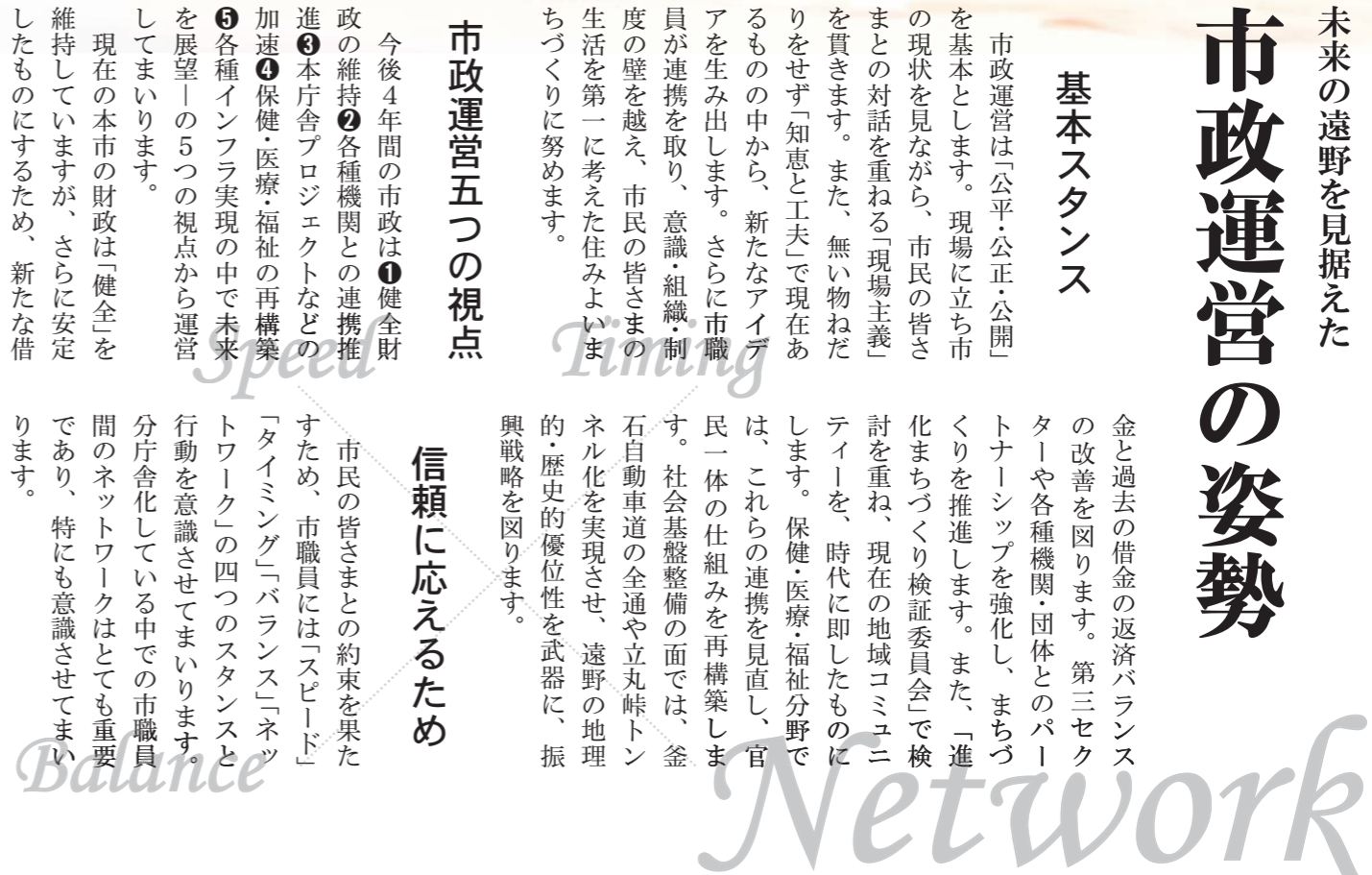
市政運営の姿勢

未来の遠野を見据えた

金と過去の借金の返済バランスの改善を図ります。第三セクターや各種機関・団体とのパートナーシップを強化し、まちづくりを推進します。また、「進化まちづくり検証委員会」で検討を重ね、現在の地域コミュニティを、時代に即したものにします。保健・医療・福祉分野では、これらの連携を見直し、官民一体の仕組みを再構築します。社会基盤整備の面では、釜石自動車道の全通や立丸峠トンネル化を実現させ、遠野の地理的・歴史的優位性を武器に、振興戦略を図ります。

信頼にこたえるため

市民の皆さまとの約束を果たすため、市職員には「スピード」「タイムリング」「バランス」「ネットワーク」の四つのスタンスと行動を意識させてまいります。分庁舎化している中での市職員間のネットワークは、とても重要であり、特に意識させてまいります。



全力投球

一所懸命

誠心誠意

約束 01

「子育てするなら遠野」の施策とバックアップ体制の充実・強化を図ります

わらすっこ条例の一部改正など、子育て環境の充実強化を図るほか、子育て総合支援センター機能の充実、保育協会や教育委員会とのさらなる連携を図ります。また、子育て住宅整備の促進や、出産しやすい環境づくりに努めます。



01



子育てするなら遠野

02



教育環境などの整備

03



産・農林畜・観光振興

04



保健医療福祉の充実

05



インフラ整備の加速



約束 03

産業と農林畜産業の活性化、観光振興をさらに進めます



農・商・工の連携による6次産業化を推進します。このほか雇用の場の確保、若者の定住策の推進、観光産業などの振興を図ります。また、農林畜産業の弊害となっている有害鳥獣や放射性物質の影響に対し、リスク対策を強化します。



約束 02

しっかり教え、きちんと学ぶ教育環境の整備を推進します

知育・徳育・体育の充実を図るほか、平成28年に開催されるいわて国体開催に向け、環境整備を推進します。また、まちなか図書館整備と、市立図書館や学校図書館の連携を図り、誰でも本に親しめる環境づくりに努めます。

本田市政3期目に掲げる

とおの約束

現在の本市のさまざまな課題を克服し、新たな遠野の未来をつくるための「10・とおの約束」を紹介します。

遠野のさらなる発展のためには、多方面で各種取組が必要で、教育や産業振興、景観の保全活動、防災の取り組みなどを10項目に分け、「10・とおの約束」として掲げました。私の基本姿勢を守り、2つの優先課題と合せ、「10」の事業を進めてまいります。「10・とおの約束」の実現は、住みよい遠野の未来につながります。郷土芸能や歴史の建造物のほか、特有の地域コミュニティなど、遠野には古くても光り輝く「古くて新しいもの」がたくさんあります。それらを磨き、もっと輝かせることが、市民の皆さまの住みよい環境づくりにつながると考えています。これに加え、現在工事が進められている「復興支援道路」の整備により、さまざまなまちとの交流が生まれることが期待できます。交流から入ってくる「新しいもの」と、遠野のさまざまな特性とを融合させ、新たな「遠野スタイル」を生み出します。

市政運営「10の約束」



ライフチャンスのさらなる拡大、保健・医療・福祉の充実と再構築を図ります

市民の皆さまの健康寿命を延ばし、生涯現役で活躍できる環境整備を推進します。また小友診療所の改築のほか、障がい者福祉施設の整備など、医療・福祉施設の充実を図ります。このほかICTなどを活用した健康づくりネットワークを拡大させ、市民の皆さまの健康を維持できる環境をつくります。

約束 04



06



生活環境の整備推進

07



地域と人の絆再構築

08



古くて新しいものへ

09



里・山・川景観の保全

10



防災・減災のまちへ

平成21年10月23日～同25年10月22日

主な事業など

平成22年6月ほか
『遠野物語』発刊100周年



同年6月14日の『遠野物語』発刊100周年を記念し、各種イベントや記念式典が開催された。

平成23年3月11日
東日本大震災発災



東日本大震災により多くの沿岸市町村が被災。本市はその後方支援拠点として活動を展開した。

平成25年4月
中学校再編成



市内8中学校を遠野中、遠野東中、遠野西中の3中学校に再編成。新たな歴史を刻み始めている。

各種計画の達成状況

- ★総合計画後期基本計画(H23-27)
- ▷計画登載事業着手率…87.2%
(148事業中129事業に着手)
- ▷H24まちづくり指標達成率…78%
(141指標中110指標が概ね達成)
- ★合併協定項目
- ▷事務事業調整率…100%

公約の達成状況

- ★私の決意と約束
(平成21年10月)…92.5%
(80項目中74項目を達成または着手)

約束 10

「備えあれば憂いなし」を
実践します



各自主防災組織の訓練のサポートや市消防団の団員募集・訓練などを通じ、防災・減災に努め、遠野を災害に強いまちにします。また消防救急無線や防災行政無線のデジタル化により、有事の際は市消防署と市消防団などの連携をよりスムーズにできる体制を構築します。



里山・里川 景観の保全・継承を 推進します

遠野には、先人が守り伝えてきた美しい山や川などの原風景がたくさん残されており、私たちの生活を支えてくれたり、遠野の観光資源となったりしています。これらの日本に誇るべき原風景を保全し未来に継承するため、森林環境の保全や、生活に身近な水路事業などを通じ水辺景観の再生を図ります。



約束 07

地域の「絆」、
人の「つながり」の
再構築に取り組みます

人口減少が進む中、行政区や自治会など現在の地域コミュニティを、時代に対応できる組織となるよう再構築します。また、地域リーダーの育成などを通じ、未来の遠野をつくるため、市民協働体制を再構築します。

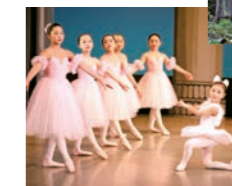


約束 08

「古くて新しいものは光り輝くプロジェクト」
の推進に取り組みます



老朽化した市民センターの大規模改修や平成25年7月に市が取得した千葉家曲り家の修復、mm1とめがね橋周辺の環境整備に取り組みます。また、遠野駅前の「民話通り」を無電柱化するなど、景観づくりに努めます。さらに、来春のSL列車運行(予定)に合わせた「SL停車場プロジェクト」の推進を図ります。このほか、郷土芸能の保護・伝承、芸術文化活動の振興を図ります。



近未来につなぐインフラ
整備を加速させます



約束 05

市民の皆さまのさまざまなニーズ
に応える施設とするため、市役所の本庁舎を整備します。また道路交通、情報通信それぞれのネットワーク基盤を整備し、住みやすいまちづくりを進めます。



安心・安全な生活環境 の整備推進を図ります

平成27年から始まるもえるごみの広域処理化に備え、ごみ減量対策などを実践します。また公共下水道と浄化槽の計画的な整備のほか、再生可能エネルギーを活用し未来の生活を意識した施策を進めます。さらに交通安全と防犯の取り組みも強化し、安心・安全なまちをつくります。



約束 06